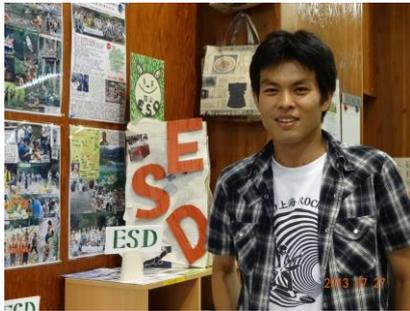


ふりがな 氏名	いのうえ こうき	都道府県	岡山県	
	井上 紘貴			
所属/肩書	岡山市京山地区 ESD 推進協議会 / メンバー			
私の ESD活動	岡山市京山地区における、 公民館を核とした地域づくり			

活動の概要（特に、取り組みの独創性、革新性、成果について説明してください）

岡山市北区京山地区では、京山公民館を核とした、ESD 活動を推進している。具体的なものの一つに 2003 年より実施している KEEP(京山地区 ESD 環境プロジェクト)がある。これは中学生を中心としながら、小学生、高校生、大学生、社会人、高齢者まで幅広い世代で地域内を流れる用水路での水質調査や生物調査、あるいは公園での大気調査、植物の観察を 1 年に 2 回、定期的で開催している、地域ぐるみでの環境学習である。

2005 年度からは、地域内に ESD をより普及、促進させるべく、京山公民館を会場に「ESD フェスティバル」を毎年 1 月に開催しているほか、2007 年からは地域の人、歴史、文化を映像で残すべく、「ムービー京山」を立ち上げたほか、2008 年度には演劇を通じて、環境問題や ESD について訴える「劇団公民館☆京山」も立ち上げてきた。

京山地区のみならず、岡山市における ESD 活動の特徴として、公民館を核としていることである。公民館は子どもからお年寄りまで集まる、地域社会の中心となる公的な場であり、公民館を活用することで幅広い世代、各種団体を巻き込むことができるというメリットがある。その結果、京山地区では環境問題をメインに ESD 活動を始めたが、活動を継続するうちに防災、子どもの居場所づくり、外国人との共生など、地域に関する様々な課題にも地域ぐるみで取り組むようになり、世代を超えた対話、学びあいの場を提供している。

京山地区が ESD に取り組んできた成果の一つとして、「緑と水の道」プロジェクトがある。これは京山地区を流れ、環境てんけんの調査地点でもある観音寺用水を対象に、子どもが安心して親水でき、なおかつ交通弱者の高齢者も安心して歩行できる空間を目指したものである。2007 年 12 月の「市長と語る会」において環境てんけんに参加していた中学生からの提案を基に、行政や大学、町内会とが協働して案の具体化を進めてきた。「緑と水の道」は現在整備が進行中で 2014 年 4 月に供用開始予定である。

・岡山市京山地区 ESD の活動: <http://www.kc-d.net/pages/esd/>

今後のESDの発展のために、若者はどのような役割を担えますか？

若者は環境面のみならず、経済面、社会面においても将来に対して強い不安を抱いている。しかし将来を悲観的に捉えるのではなく、「何とか自分たちでよくしていこう」と前向きに努力させるために、「稼ぐ力」や「仕事起こしの力」を彼らにつけることで、社会課題を解決しつつ、なおかつ収入も得られるようなソーシャルビジネスを促すことが期待できる。

また、いつの時代も若者はお洒落に対して非常に敏感である。若者自身がトレンドを常に把握し、お洒落なイベントを起こすことで、活動に賛同する若者が増え、地域に賑わいをもたらすことも期待できる。

若者は柔軟な発想、素直に聞き入れる能力が長けており、若いうちから ESD に即した活動、学びを継続的に提供することで、自らの価値観、行動も変えることができると思われる。また、自ら行動できる若者に活躍できるチャンスを与えることで、社会をより持続可能な方向に変える役割が期待できる。